

C-22 ダーツに関する研究(第14報), ダーツ設定の作図法について(その4)

高知女大 市川一夫 村田菊子 安岡真理 松山東雲短大 ○武石千代

目的 設定線に垂直にダーツを設ける場合, その作図法を簡易化すれば, ニつ又は三つのダーツを設定するときには容易でかつすみやかになるはずである。それに二つ又は三つのダーツを設ける場合の新設定線の長さを理論的に求め, この新設定線が短くなるので設計の都合上一つの起点はそのままに, いづれか今一つの起点側で延長, 調整する必要がある。

方法 ダーツの中心点はダーツ設定前の円の中心でもあるのを利用, 両起点を再現し, 作図上から新設定線の長さを理論的に誘導する。長さの調整法としては, 一つの再現起点から, 他の再現起点側の設定線の再現設定線上に延長する方法をとる。

結果 本法によるときは, 作図上の手数が減り, すみやかに容易にでき, 殊に二つ又は三つのダーツを入れる場合には容易になる。また新設定線は明らかに理論的に短縮されることがわかり, その調節法は, たゞ三つダーツを入れる場合のみ特別な配慮が必要であることがわかった。